



**Honami Sasaki**  
佐々木 保奈美さん(23)  
登米市 消防署  
警防救助係 消防士

## 防災や救急意識の向上のため 市民により近い消防士に

**Q1 勤務して何年ですか？  
仕事の内容は？**

2011年に採用され、その後1年間は消防学校へ入校。12年から登米市消防署に配属され、3年目になります。配属後2年間は救急係に、本年4月からは警防救助係に異動となりました。火災や事故現場に出動する最前線の係です。

**Q2 消防士を目指したきっかけは？**

中学3年生のときに家族で外出中交通事故に遭い、すごく不安になっていたら、女性救急救命士が優しく声をかけてくれて安心しました。その姿に、私も不安を和らげられ

る救急救命士・消防士になりたいと思いました。

**Q3 消防士になると決めたときの周りの反応は？**

祖父が消防士だったので、家族は仕事の内容が分かっていた。特に家族の反対はありませんでした。

**Q4 この職業について良かったと思うことは？**

やはり「ありがとう」と感謝の言葉をもらったときです。救急車の中で処置をする際に「女の人がいると安心する」とよく言われましたね。特に20〜30歳代の若い女性だとおさらです。

**Q5 女性だから苦労したということは？男性の多い職場**

**での悩みや困ったことは？**

苦労というか、差を一番感じるのは体面です。走るのは大丈夫ですが、重いものを持ち上げるときはかなわないですね。分かってはいますがやはり悔しいです。また、訓練で汗をかいた後など、シャワー中でも出動指令があれば、すぐに出動しなければなりません。男性より着替えに時間がかかってしまうので、自分なりに早く着替えられるよう工夫しています。被害を最小限にするため出動が遅れないように頑張っています。

**Q6 職場で改善してほしいことなどはありますか？**

特にはありません。でも、女性が一人なので心細くなる



ことがあります。小学生が見学に来ると「女の消防士さんだ」とか「私もなりたい」と言われます。早く女性消防士が増えてほしいです。

**Q7 どのような消防士を目指していますか？**

市民にもっと近い存在になりたいです。お互いにコミュニケーションを取り、皆さんの防災や救急の意識が高くなっていけばと思います。

—上司に聞く—  
**性差ない仕事。でも貴重な存在**

女性だからといって特別扱いはしていませんし、性差は特に気にしていません。私たちの業務は互いに補助しながら進めますが、そこに男女は関係ないからです。それに、女性隊員の存在は、非常に助かります。救急現場で女性に触診をする際などは、患者に安心感を与えます。また我々も女性がいることで会話やエチケットに気遣うようになりますし。

—佐々木さんへのメッセージ—

火を恐れないで向かってほしいです。でも常に注意して自分を守ることも忘れずに。市民に安心を与える消防士になってください。



登米市 消防署  
警防救助係  
村山 義裕 係長

# これが私の生きる道

男だから力仕事、女だからこそ力を発揮できる仕事をしなきゃと思いがち。でも、女性でも力がある人もいれば、男性でも細やかな気配りが得意な人もいます。

性別にとらわれることなく、個性と能力を発揮できる仕事で、人それぞれの人生を輝かせます。それぞれ、男性、女性の仕事といわれる職場を選び、活躍している二人に話を伺いました。

## 子どもたちの成長に喜び 未来の宝を預かる大切な仕事



**Yusuke Usami**  
宇佐美 佑介さん(28)  
社会福祉法人 牧羊会  
錦織保育園 保育士

**Q1 勤務して何年ですか？  
仕事の内容は？**

短大を卒業後、07年から勤務し8年目になります。現在は2歳児を担任しています。

**Q2 保育士を目指したきっかけは？**

幼い頃、妹やいとこたちの世話をする機会が多く、子どもと遊ぶのが好きでした。高校生くらいから子どもに関わる仕事に興味を持ちました。

**Q3 保育士になると決めたときの周りの反応は？**

「子どもが好きだし、小さな頃から音楽が得意だったし、物を作ることも好きだからいいんじゃない」と賛成してもらいました。

**Q4 この職業について良かったと思うことは？**

子どもと一緒に毎日笑ったり、驚いたり、成長を喜び合ったりできることです。

**Q5 仕事をしていて気を付けていることは？**

夜更かしと前日の飲み過ぎは絶対ダメです。

**Q6 男性の保育士ならではのいうところは？**

体を使ってダイナミックな遊びをしてあげられるところですね。園の催しや、力仕事、パソコンなどは率先して取り組んでいます。

**Q7 男性だから苦労したということは？女性の多い職場での悩みや困ったことは？**

他の園は分かりませんが、自分の職場はみんな優しく楽しい人ばかりで、困っていることは特にありません。

**Q8 どのような保育士を目指していますか？**

家庭生活での父親不在や父親とのふれあいを補うためにも父親的役割ができる保育士になりたいです。

**Q9 性別による職種の制限がなくなっても、まだまだ男性の保育士は少ない状況です。増やしていくためには何が必要だと思いますか？**

法律の改正、処遇改善です。具体的に言うと給料ですね。私たちの給料は、国・県の補助金に左右されるので、どうしても男性は辞めてしまう人



が多く、収入面が要因の一つだと思います。給料が上がればもっと質の向上にもつながるのではないのでしょうか。現場としてはそれを伝えていきたいです。

**Q10 男性保育士を目指す人へ伝えたいことは？**

保育士は、かけがえのない命を預かる大切な仕事です。子どもたちの成長を感じることはとても嬉しいものです。

—上司に聞く—  
**男性の存在が保育の質の向上に**

歌や絵本の読み聞かせ、会話など、女性と男性の声ですること、子どもたちの感性は豊かに、より感動も大きくなります。男性保育士の存在が、保育の質を向上させるのは確かです。当保育園では20年ほど前から男性保育士がいたため、特別と感ずることはありません。保育者として互いに認め合い、常に感謝の気持ちを言葉で伝えるようにしています。

—宇佐美さんへのメッセージ—

大切なものは、すべて人との関わりの中で育まれます。子どもと保護者の心に寄り添い、共に歩む保育者になってください。



社会福祉法人 牧羊会  
錦織保育園  
岩渕 美子 園長